

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

# 直東学園ニュース

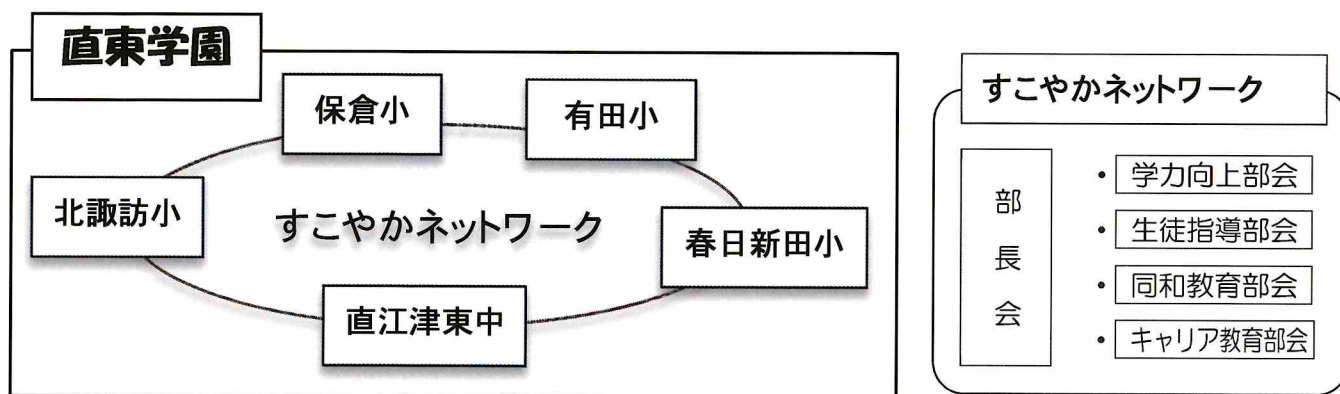
直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和元年度 第2号  
令和元年 6月 15日発行  
＜発行・編集＞  
直東学園 事務局  
〒942-0041  
新潟県上越市安江 282-1  
(上越市立直江津東中学校内)  
TEL 025-543-2729  
FAX 025-543-4150  
E-mail: higashi-cs@jorne.or.jp

こんな学校に我が子を通わせたい・・・と言われたい

直江津東中学校長 稲葉浩一

子育ては、本来、親の務めです。しかし、直東学園には、地域みんなで育てよう、見守っていこうと子育てを支える環境が整っています。当地域では、表題にもあるように「地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども」を目指す姿としています。学校では、小中一貫したキャリア教育を柱として、地域とともに様々な活動に取り組み、児童・生徒の育成に努めています。



すこやかネットワークは、平成 18 年に生まれた小・中学校間の連携組織です。当初は、主に生徒指導上の問題を解決することを目的としていました。その後、直東学園運営協議会の発足にともない、リニューアルして現在に至っています。上の図のように「学力向上」「生徒指導」「同和教育」「キャリア教育」の 4 つの各部会で構成され、さらに、運営するために「部長会」を組織し、学園内小中 5 校の校長と理事長、事務局長で毎月定例会を開催しています。

これまで、すこやかネットワークでは、折々で地域の方とかがわりながら、地域とともにある学園・学校を具現してきました。この意識が、年々地域や保護者、子どもたちに浸透しつつあると感じています。新しい学習指導要領が施行され、より一層、地域や家庭と連携した教育が求められています。小中連携も進んでおり、音楽や英語で小中の先生方のコラボも実現しています。

地域挙げてのあいさつ運動はもちろん、いじめ見逃しゼロスクール集会や立志式、職場体験など地域の皆様からもたくさん関わっていただいています。さらに、日頃の登下校の見守りなど、地域の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、学校では、子どもたちにたくましく生きる力をつけるため、様々な活動を行います。私たち職員も、地域の中で地域とともに子どもの成長を促し、見守るサポーターでありたいと思っています。

昨年度の有田小学校開校に象徴されるように、当地域は、まさに発展の途にあります。地域からの絶大なる支援に支えられ、子どもたち一人一人の学力向上、また、一人一人のよりよい生き方や将来の希望の達成に向け、小中学校職員一同、精一杯取り組んでいきます。「こんな学校に我が子を通わせたい」と地域の皆様から言っていただけるよう、精進してまいります。

## キャリア教育部会の取組

キャリア教育を中核にした小中一貫教育の推進が、直東学園の重点目標です。

直東学園5校ともに特色ある教育活動としてキャリア教育を大切にします。生活科・総合的な学習の時間を核に、教育活動全体を通して地域に根差した教育を推進します。

### 1 キャリア教育でねらう資質・能力の育成のため、生活科・総合的な学習の時間を中心にした単元づくりや実践の積み重ね

・キャリア教育で育む資質・能力は次の4つです。

- ① 人間関係形成力
- ② 自己理解・自己管理能力
- ③ 課題対応能力
- ④ キャリアプランニング能力
- ⑤ 郷土愛（⇒新潟県独自のものです）

これらの力を発達段階に応じてさらに具体的にし、共通の育てたい資質・能力として取組を進めています。

- ・学校間連携による単元づくりを進めます。
- ・4小学校の児童が交流し学び合う、「マスコミ学習」（5年）等を行います。



【5年「マスコミ学習」H30. 10. 29】

- ・キャリア教育に位置付けた単元については、授業実践を通して改善を図ります。

### 2 地域の教育資源を生かした活動の構想

- ・学園支援本部の協力を得ていきます。
- ・地域の事業所の協力を得て、地域の人財を生かした授業づくりを進めます。

### 3 多面的な評価と改善

- ・教職員の評価と、児童生徒、保護者、学校運営協議会委員などの意見を参考に、よりよいカリキュラムや授業実践になるように改善を図ります。

## 生徒指導部会の取組

よりよい人間関係づくりや規律ある学校づくりを進めるために、次のことに取り組みます。

### 1 リーダーシップ・フォロワーシップの育成

小学校では、縦割り活動や児童集会を中心に、異学年や同学年と認め合い助け合う活動を行います。また、中学校では、生徒を前面に出した生徒会活動や学年活動を行います。



【縦割り班による異学年との活動 昨年の様子】

### 2 小中5校の一層の連携と切れ目のない指導

定期的に生徒指導担当が集まり、子どもの現状や課題を情報共有し、協力し合って指導をします。また、「直江津東中学校区生活のきまり」の定着も図っていきます。

### 3 「いじめ見逃しゼロスクール集会」の充実

11月18日（月）の午後から、小中学生が一緒になって、いじめのない学級、学年、学校にしていく意識と実践力を高める集会を実施します。



【いじめ見逃しゼロスクール集会 H30. 11. 21】

## 学力向上部会の取組

今年度の取組について紹介します。

### 1 全国学力学習状況調査及びNRTの結果分析の共有化と課題の明確化

○2月下旬に各校の結果を持ち寄り、成果と課題を検討します。

### 2 研修会・学校間授業研究交流会による授業力の向上

○学力向上研修会：6月4日（火）午後・11の教科部会を設定し、新学習指導要領実施にかかわり、小中学校9年間を連携しながら進める教科指導の在り方について研修します。

○学校間授業研究交流会の実施

- ・市授業改善支援訪問 有田小学校
- ・上越数学教育研究会授業公開  
直江津東中学校 北諏訪小学校
- ・その他 中から小への出前授業

### 3 家庭学習の充実

○「学年×10分」の徹底

○スタディ・ウィークの実施（2学期から）

- ・東中の定期テストに合わせ9月中旬、11月上旬、1月下旬から2月上旬に実施
- ・達成状況、取組内容、成果と課題について集計

### 4 規律ある落ち着いた学習習慣づくりの推進

○「学習の約束10カ条」の徹底

### 5 ノーテレビノーゲーム運動の実施（毎月10日）

\*児童生徒の学力及び生活力の向上を目指して、学校・家庭・地域が一体となり取り組みましょう。



【今年度初挑戦：一斉研修の様子から】

## 同和教育部会の取組

今までの取組の成果の確認と今後の活動計画の見直し及び授業改善を行なうことを今年度の目標として、活動をして参ります。

これまで同様、全ての教育活動のベースとして人権教育、同和教育を根付かせていくことを大切にして参ります。

【重点】

### 1 直江津東中学校区同和教育基底計画の見直しと確実な実践

H28年度に作成した基底計画の成果と課題の確認をし、基底計画の見直しを授業実践及びそのPDCAサイクルに基づいて、より効果のある計画になるよう改善を行います。

4小学校は基底計画を中心とした実践を行い、知識や人権感覚等を同一步調で育て、中学校はそれを受けて継続的に同和教育を進めます。

### 2 人権問題の正しい認識と人権感覚を高め、授業改善を図るための教職員研修の充実

1を実現するためには、まず教職員の資質・能力を高めることが不可欠です。8月に県同教研究集会上越大会に参加し、研修を行います。また、各校独自の講演会や研修会の実施、授業研究等は連絡し合い、相互に参加し合います。

### 3 家庭、地域と連携した取組の推進

実践と行動に結び付く人権意識を育むためには、学校と家庭、地域が車の両輪となって同じ方向を目指して取り組むことが必要です。教職員、保護者、地域の人々が共に学ぶ場を設け、共に学び合うことで、地域全体の人権意識を高めていきます。



【H30. 11. 30 保倉小

「ほくら人権の日」サイレントマジックショー】

# 春のあいさつ運動ありがとうございました。

4月8日（月）～15日（月）の春の交通安全運動期間中に、大人も加わり地域一丸となったあいさつ運動を行いました。ご協力ありがとうございました。町内会役員、交通安全協会、民生委員・児童委員、PTA、地域の皆様からアンケートに回答していただいた結果です。

1 立哨中に出会った大人の方とあいさつを交わしましたか。

ア 交わした	イ 交わしたり交わさなかったりした	ウ 交わさなかった	無回答
84%	16%	0%	0%

2 立哨中に児童生徒に自分のほうからあいさつをしましたか。

ア 自分から先にした	イ 自分からしたり相手が先にしたりした	ウ 相手が先にした	無回答
58%	34%	8%	0%

3 期間中家庭内であいさつをしましたか。

ア 自分から先にした	イ 自分からしたり相手が先にしたりした	ウ 相手が先にした	無回答
39%	53%	5%	3%



4月10日（水）上越タイムスに直江津東中学校区の活動内容が紹介され、中学3年生が玄関前で元気にあいさつしている様子が掲載されました。



## 上越市地域活動支援事業が採択されました。

令和元年度の直東学園の地域活動支援事業への提案は3つです。北諏訪区、保倉区、有田区の3つの地域協議会にそれぞれ提案をしました。

一つ目は、「直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業」です。地域として学校を応援する手引きとなる「学園要覧」や令和2年度小学校新入生用の「教育ハンドブック」を作成します。

二つ目は、「直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業」です。児童・生徒の夢や希望の実現に向けたキャリア教育の様々な活動を支援します

児童・生徒は主に4つの活動を行います。

- (1) 5つの学校に共通する活動・・・「仲間づくり活動」（妙高自然の家での自然体験活動）等
- (2) 4小学校共通活動・・・5年「マスコミに学ぶ」活動、4年「1/2成人式」の活動等
- (3) 各小学校の特色ある活動への支援
- (4) 中学校の特色ある活動への支援・・・卒業生から就いた職業や生きがいについて学ぶ「ようこそ先輩」事業、「立志式」等

三つ目は、「直江津東地域防災・防犯活動支援事業」です。地域の防災防犯活動に活用できる直江津東中学校区の校区地図を作成、配布します。

事業費は、一つ目は45万3千円、二つ目は289万9千円、三つ目は204万円をお願いしました。

5月27日（月）有田区、5月29日（水）保倉区、5月30日（木）北諏訪区でのヒアリングに出席してきました。その結果、いずれの事業もそれぞれの協議会で採択されました。